



Information - transactions

国際協力銀行の期間5年の日本政府保証グローバル・ドル債発行で共同主幹事 2007年11月



国際協力銀行

年間：5年
発行額：10億米ドル

米ドル建てでグローバル・ドル債発行

共同主幹事

2007年11月

ドイチェ・バンク・セキュリティーズは、国際協力銀行が2007年11月15日にグローバル市場で発行した期間5年、総額10億米ドルにのぼる第15回日本政府保証外債で共同主幹事を務めました。本案件は、国際協力銀行にとって、2005年の10億米ドルのグローバル・ドル建債券ならびに2007年3月のユーロ・ドル債に続く国外における起債となり、国際市場における発行体としてのプレゼンスを一層高め、米国を初めとする幅広い投資家層と高い流動性を確保する起債となりました。

今回国際協力銀行が発行した期限5年の日本政府保証付きグローバル・ドル建債は、発行総額10億米ドル、発行価格99.455%（投資家利回り4.498%）、表面利率は4.375%となっています。払込期日ならびに満期日は各々、2007年11月26日と2012年11月26日、利払日は毎年5月26日、11月26日（初回は2008年5月26日）です。

また、本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクからAaa（トリプルA）、スタンダード&プアーズからAA（ダブルA）の格付けを取得しています。

本案件は、最近の米国サブプライム問題に起因した市場の不透明感や特に金融機関に対する厳しい選別の動きが強まるなかでの起債となりました。しかし、主幹事証券会社が協力して、市場動向を注視した細やかな起債運営を行うことで、質及び流動性の高い投資先を求める幅広いグローバルな投資家からの強い需要を得て、ベンチマークとする2012年10月31日満期米国国債（3.875%）の利回りに対して非常にタイトな価格設定（スプレッドは73.5ベースポイント）のもとで順調に販売されました。特に、各国中央銀行（最大規模の購入先）やファンドマネジャー・年金／保険などから強い需要を得ました。

調達した資金は、国際協力銀行の輸出入向け融資や海外投融資、アントイドローン、日本企業の海外プロジェクトローン、開発国への政府開発援助（ODA）などに使用されます。

本案件の共同主幹事は、ドイチェ・バンク・セキュリティーズ、シティグループ・グローバル・マーケッツ、モルガン・スタンレー・インターナショナルが務めました。

